平成6年／1994年
1月1日(土)　元旦号

THE JC あらうみ

発行　㈳いわふね青年会議所　村上市小町4－10
交流広報委員会　委員長　加藤　博
☎ 0254－53－4257(代)

鳥は飛ばねばならぬ

新生㈳いわふね青年会議所の熱い想い

理事長　横井　仁
ききて　交流広報委員会
委員長　加藤　博

明けましておめでとうございます。

今、正に新生㈳いわふね青年会議所が飛び立とうとしています。怒濤の海の先には信じることでしか、見い出すことの出来ない光明の島が、はっきりと見えます。

私共㈳いわふね青年会議所の新しいリーダー、横井仁理事長に今後1年間に賭ける熱い想いや、JC（青年会議所）に入られたきっかけなど、色々とお聞きします。

加藤　横井さんはJCに入られて何年目になりますか？、それと横井さんのJC歴もお願いします。

横井　一九八八年入会だからもう五年になりますね。

加藤　五年目で理事長ですか。私は昨年二十七才で入会ですから私として見れば三十二で理事長ですね。まあ私は理事長にはなれませんけどね。

横井　いやそんなことは無いよ、こう言う物は年齢とかじゃないからね……本題に戻るけど入会の翌年には社会開発委員長から始まり、五年間の内一年は会員拡大委員会、一年はトライアスロン実行特別委員会に所属し、残りは社会開発系でした。

加藤　たしか直前理事長もずっと社会開発系でしたね。JCへの入会は誰かに進められたんですか？

横井　入会時理事長でした加藤清司先輩に進められ（一部上手に進められたもので）オブザーバーで例会に初めて出席した時には「大変な会に入ったと言う不安な気持ちと、村上市以外の会員が少なかったのが記憶に残っていますよ。

加藤　うまいことを言われて入会させられた人もいたとは聞いていましたが横井さんもその口だったんですね。

横井　まったくその通り。

加藤　それでは今年のキャッチフレーズ「輝け、いわふね、ふるさとに」は、どの様な想いが込められているんですか？

横井　青年会議所運動の人作り、町作りが基本なのですが、広域事業への参画や広域団体との運動を通じて広域人材の育成、もちろん会議所会員の育成、意識の高揚につながってもらえれば、と思います。又広域圏において各市町村の枠を超えた事業や運動が、私達のこのふるさとに広がり、また、定着していく様にと言う意味あいが込められております。

「いわふね」とは人々であり、「ふるさと」とは大自然あふれる岩船地方であると考えています。

加藤　横井さんの岩船地方に対する想いが伝わって来る様な答えでした。では今年度はどの様な事業展開をされるつもりですか？

横井　今年度は昨年度事業の継続であります各市町村の行政をはじめとした地域開発、地域の活性化をめざしている機関、団体との交流を活発に行い、岩船地域の将来に向けたビジョンを見つけ出せればと思っております。又この地域の将来を担う人材の育成として中学生フォーラムを開催し、中学生から見た地域の将来像について語り合っていたいね。そして昨年、各団体地域全体を巻込んで開催し、大成功に終った村上国際トライアスロン大会の開催であります。一回二回と積み重ねていってこの地域ならではの特色ある地域住民の大会に持っていかれる様に努力して行きたいと思っているんですよ。

さらにこの地域では高速交通体系の声が聞かれて久しくなります。新潟より青森までの日本海沿岸東北自動車道の早期実現に向け、シンポジュウムを行い運動を進めてまいりました。昨年、中条までの施行命令が出て高速交通体系の糸が少しづつではありますが確実に伸びて来ております。今年はここいわふねの地でシンポジュウムを開催し、一日でも早い実現を目ざして運動を行って行きたいと思っているんですよ。

加藤　今触れた中の村上国際トライアスロン大会についてですが私自身から言わせると、大成功とは思えないところがあるのですが、横井さん自身は今年度の大会についての方向性はどの様に考えておられますか？

横井　私自身は第一回目と言うことを考えますと、大成功に終了したと思ってるんですよ、ただ大会の中においての改正点などは多々あったのは事実です。今後はその様々な問題点を改善しながら、自然環境に恵まれたこの地方をもPRするには良いイベントではないか、と思うんですよ。又大会を積み重ねて行くことにより周辺の環境整備にもつながっていく事業でもあると思っています。ただ各行政が参加してもらえないと大会の開催自体が難しくなります。官民一体となった素晴しい第二回大会に向けて運動を進めて行きます。

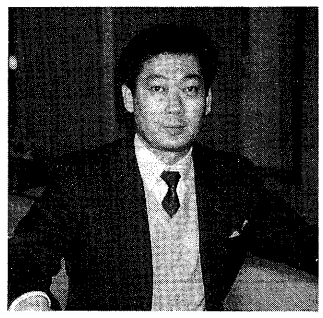
加藤　それでは一昨年より国際交流の一環としての韓国東草（ソクチョ）JCとの交流については、どの様な想いがあるのですか？

横井　国際交流の一環として始めた東草JCとの交流自体はこれからの国際化時代をふまえ、たいへんに意義深いものだと思っています、ただ経済的にも、あまり良くない時でもありますし、双方のJCにも様々な事情もあることですし、時を急いで枯らすよりも小さな蕾を大切に育てていけば必ず良い方向に行くのではないかと思います。

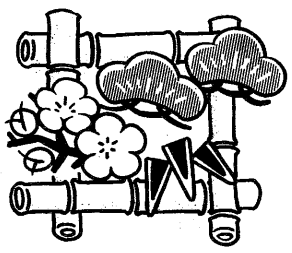
加藤　そうですね私も形だけの答えよりも、結果としての答えにした方がより素晴らしい国際交流になるものと思いますよ。それでは最後に広域的な事業展開と言うことを踏まえて今年の当いわふねJCのあり方や方向性などをお聞かせ下さい。

横井　広域青年会議所としての再スタートとして二年目に入りました。今まで地域との交流が少なかったのは確かです、しかし各町村からの会員も多くなりましたし、農政会議等の勉強会や懇談会も開催し、少しづつ、色々な形で交流をもって来ていることも事実です。この交流を大切にし地域の人々、団体とのコミュニケーションの場を広めて行けば大きな流れの中での地域活動につながって行くのではないかと思っているんですよ。またこれが大きくない市町村の枠を超えた形になればもっと素晴らしいのではないでしょうか。

加藤　ありがとうございました。私も郡部の人間ですのでこの地域が一つの意志の中で一つの方向性をもてたらと心より思う人間の一人であります。願わくば横井さんの想いがいわふねに住んでおられる皆様方の想いに成ります様、いわふねJCの活動が皆様方の身近な存在に成ります様祈念し、又そう成ることを信じて止みません。



直前理事長あいさつ

直前理事長　佐藤　重陽

明けましておめでとうございます。昨年は㈳いわふね青年会議所理事長として、大変おせわになりました。心より感謝申し上げます。昨年は名称の変更に始まり『まちづくり講演会』『河川清掃』『村上国際トライアスロン大会』『骨髄バンク推進シンポジュウム』『農政会議』等地域の皆さん、行政、諸団体と一緒になって研修・活動する機会を関係各位のおかげにより与えていただきました。特に、村上国際トライアスロン大会に於いてはメンバー全員が専門部の一員となり大勢の方々と一緒になって取り組むことが出来ました。事務局開設当初は、各自のトライアスロンに対する想いの違い等で、なかなか足並みが揃わず作業の進行もスムースにゆきません。そんな中で何度も会合を重ね、不揃いの足音が段々と歩調を合わせ、日本海を舞台に最高の演出ができました。我々も関係した皆さん並びに参加した選手達と共に大きな感動を得る事ができました。本当にありがとうございました。この村上国際トライアスロン大会が本年も昨年の反省を踏まえ、皆さんの力で一層の充実した大会として開催されることをご期待すると共に我々も本年度理事長横井仁君を先頭に積極的に参加していくものと確信します。また、本年様々な事業の中で㈳いわふね青年会議所が皆様にお世話になることと思いますが、その理事長横井仁君に皆様の暖かいご理解と、ご支援を賜わりますことをお願い申し上げます。最後に、昨年大変お世話になった行政、諸団体、学校、ボランティアの皆様に深く御礼申し上げるとともに、本年も皆様にとりまして幸多き年でありますことを願いながら新年のごあいさつとさせていただきます。